

# 「カリフォルニアに利他の心を」

松井ナーサリー社長 松井 紀潔塾生



年代	主な出来事
1935	奈良県生まれ 高校を卒業し農家を後継 23歳長女誕生
1961	アメリカで農業研修
1962	春に修了。夏に渡米。 所持金1万円、片道切符。
1964	家族を呼び寄せる。奥さん時給85セントで貯蓄。
1966	永住権取得。5千ドルを元手に借地で菊の栽培を始める。
1970	貯めた4万ドルを元手に20ha農地取得。銀行から16.5万ドルの融資。 数値に基づいた事業計画と聞く世界一への戦略。 13haの音質を10年で建てる。 絶頂期 菊からバラへ。
1984	メキシコ系農業労働組合運動が勃発。 組合問題を解決させたが、4年赤字が続く。 400万ドルの自己資金で隣地を購入に、再び増産体制へ。  「心を高める、経営を伸ばす」に出会う。 愛を施すことに欠けていたことを自覚。 組織改革とアメーバ式導入。
1989	南米産バラの安値攻勢。 冷凍真空乾燥技術を開発するも、追随される。
1991	切り花まで南米産が急増。周辺農家はほとんど廃業。 手元数百万ドルの金融資産をもとに、180haの農地を買収。 市街化が予想され、10倍以上に値上がった。
1994	バラから蘭へ作付け転換。当時は周年栽培するところはなかった。 品揃えと値決めに工夫し、高い純益率を確保。
2007	不況を予測し、増産計画中止。低価格商品割合を増加。
2009	総土地面積216ha。音質30ha。栽培面積世界一 生産量：カリフォルニア州の蘭の50%、アメリカ20%のシェア。 従業員数190人、資本金114万ドル、無借金。株主は松井さんのみ。



温室30ha：東京ドームの6倍

塾長から学んだ「利他」の考えから、地域社会への貢献

松井財団設立：毎年利益の10%を寄付。25年で、2500人以上の苦学生を大学に送り込む計画。

自分の遺産は、子供には1ドルも残さず奨学金制度に使う計画。